

## 蒲池堀割委員会の提案を協働事業に採択

2月26日には実施中の「市民協働のまちづくり事業」の公開報告会

### 公開プレゼンテーションに2団体参加

市は平成22年度から「市民協働のまちづくり事業」を導入しています。この事業は、市内で活動している市民団体やグループが提案する、市民サービスの向上や地域課題の解決を目指す取り組みに対して、市が事業費の一部を補助。担当部署が団体と協働して取り組みをバックアップします。事業に選ばれるためには書類選考や公開の場での提案などがが必要です。

24年度事業の募集には3団体から応募があり、1月22日に水の郷で行われた公開プレゼンテーションには、書類選考を通過した2団体が出場しました。公開プレゼンテーションでは、提案された内容が市との協



スライドを使い事業の説明をする蒲池堀割委員会のメンバー

働に適しているか、課題をとらえ的確な解決案を提案しているか、事業費の積算が適切か、計画に無理はないかなど7項目を30点満点で採点。審査の結果、蒲池堀割委員会が提案した「柳川まちづくり堀割の安全と堀割環境配慮型再生事業」が採択されました。

### 公開報告会で事業の進め方をチェック

市民協働のまちづくり事業では、事業が採択された団体に事業報告会への出席を義務付けています。これは、事業が適切に行われたかをチェックするとともに、次年度に継続する事業への補助金の支払いが妥当かを判断するためのものです。報告会は公開で、だれでも見学できます。報告をする事業、発表の日時と場所は次のとおりです。

**報告予定事業**▷ENJOY カヌーで堀割清掃事業▷柳川市マスコットキャラクター公募事業▷小学校給食の生ゴミ堆肥化事業▷劇団風の子九州「3ちゅう very much!?!」観劇会▷夏の堀に花と子供の笑顔を咲かせるプロジェクト▷在住外国人のための柳川生活ガイド作成事業▷柳川市におけることばの発達相談事業

**日時** 2月26日(日)、午後1時30分～

**会場** 水の郷2階視聴覚室

問い合わせは、市総務課市民協働推進係(☎77・8419)まで。

## 暴力団根絶に向け1200人がシュプレヒコール

みやま市と初めて合同で暴力団追放総決起大会を開催

1月21日、市民会館で柳川市・みやま市暴力団追放総決起大会が開かれました。本市では平成21年1月20日に、西鉄柳川駅前の飲食店で暴力団組長が拳銃で撃たれる事件が発生して以来、毎年、この時期に合わせて大会を開いてきました。しかし、暴力団問題は広域的に取り組む必要があるため、今年初めてみやま市と共同で開催しました。大会には両市の経済団体や教育団体、地域の代表者など、およそ1200人が参加。安全で安心して暮らせる社会を実現するために、地域が一体となって暴力団の追放に取り組むことを宣言した共同アピールを採択。この後、参加者全員がこぶしを振り上げ「暴力団を利用しない、恐れない」などのシュプレヒコールで氣勢を上げました。



暴力団の追放を目指し参加者全員で力強くシュプレヒコール

## 中学生キャリアウィークが文部科学大臣表彰

地域の協力で市内の全中学2年生が一斉に職場体験したことを評価

### 県内でもまれな市内一斉の職場体験

市教育委員会が昨年度から取り組んでいる、中学生キャリアウィークが、1月26日、文部科学大臣表彰を受けました。

この取り組みは、中学生に実際の職場で仕事を体験させることで、自分の持っている能力に気付かせ、将来の進路選びや目標選びに役立たせることを目的に行っています。今回の表彰は地域の事業所の協力を得て、市内6校すべての中学2年生が、時期を合わせて一斉に職場体験を行っていることが評価されたものです。

中学生の職場体験事業を一斉に行うようになったの



市長に表彰の報告に訪れた市教育委員会の綿貫首席指導官、北川教育長、江口教育委員長(左から)

は昨年度から。それ以前も各校独自の取り組みとして行われていました。これを市教育委員会が事務局になり、事業者の確保や学校との調整を行ったことで、幅広い職種や事業所の中から、生徒が体験先を選ぶことができるようになりました。また、中学生が時期を合わせて職場体験することで、より多くの事業所が生徒を受け入れることになり、世代や立場を超えた地域ぐるみで、子どもたちの教育に関心を持ってもらう効果も生まれています。

### 表彰の原動力は地域の協力

今年度のキャリアウィークは、昨年9月12日から16日にかけて行われ、650人の中学2年生が213の事業所で職場体験を行いました。生徒を受け入れた事業所の多くは、社会人の基本である、あいさつの大切さを指導。生徒たちも日を追うごとに、自ら進んであいさつをしたり、仕事をしたりできるようになり、仕事の大変さを実感しただけではなく、積極性や自信を身につけることができたようです。

1月31日、市長に表彰を報告した市教育委員会の江口正基教育委員長と北川満教育長は「地域の皆さんの協力がなければ、今回の表彰はなかった。子どもたちを地域ぐるみで育てようという意識が根付いていることを誇らしく思う」と感謝の気持ちを述べました。

## かけがえのない地域の文化財を火災から守ろう

文化財防火デーを前に江越八幡宮(大和町栄)で文化財防火訓練

1月26日の「文化財防火デー」を前に、地域の文化財を火災から守ろうと、市教育委員会と市消防本部が主催して、1月22日に文化財火災想定訓練を大和町栄の江越八幡宮で行いました。訓練には地元の人たちや消防団、消防署員ら、およそ100人が参加しました。拝殿から出火し、神殿や公民館に燃え移ろうとしたため、住民の通報を受けた消防署員と消防団員が消火活動を行うとの想定で訓練。地元の人たちが非常持ち出し品を運び出したり、消防署員や第11分団と第12分団の消防団員が、きびきびとした動作で放水したりしました。この後、地元の人たちを対象にした消火器の取扱い訓練も実施。いざというときに慌てないように、訓練を重ねておくことの大切さを学びました。



テキパキとした動作で放水訓練をする消防署員と消防団員